

高校生の地元就職増やそう 丹波地域の40社がPR

企業のブースで説明を聞く高校生たち
＝丹波篠山市民センター＝



丹波篠山

高校生の地元就職を増やそうと、丹波篠山市などが「丹波篠山幸せしごとフェア」を市民センター（同市黒岡）で催した。同市や丹波市に事務所、生産工場がある企業約40社が、就職を希望する高校生たちに自社の取り組みや魅力をアピールした。

前半は、篠山産業高と篠山東雲高の3年生計約90人が授業の一環で参加。生徒たちは、製造業やサービス業など「企業」との面接ブースで、単独や5、6人のグループで説明を聞き、疑問点を質問した。

現場監督になりたいという、篠山産業高電気建設工学科3年 さん（17）は建設会社のブースへ。担当者による「建設業は正直、きついし休みも少ない。けれど公共工事で造るも

のはだれかの役に立つ」などの本音交じりの話に、「やりがいはあるそう」と真剣なまなざし。必要な資格などを尋ねていた。

後半は丹波市内の高校へ通う生徒ら約10人が参加。

2022年5月11日
神戸新聞

丹波篠山市の担当者らは「コロナ禍でも密になりにくい地方の環境が見直されている」「丹波地域にも魅力的な職場はたくさんある。高校生は今、売り手市場だが、選択肢を増やしてほしい」とPRしていた。